

# 授業改善等に関する報告書（2022 年前期）短期大学部

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2022 (前期) 短大図学] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名 (英語)	教員からのコメント
情報サービス論	橋詰 秋子	この科目は、図書館のレファレンスサービスについて学ぶ概論ですが、講義よりも演習を中心とした授業内容としました。全ての項目で全体平均を上回る評価がでており、嬉しく思います。また、自由記入欄では、グループワークを通して自己成長を実感するコメントもありました。次年度も内容をブラッシュアップさせて実施します。
図書館サービス概論	橋詰 秋子	この科目は、今年初めて対面授業として実施しました（昨年まではオンデマンド型授業でした）。全ての項目で全体平均を上回る評価がでており、嬉しく思います。2回のグループワークでのプレゼンを通して図書館サービスに関する理解を深め、課題発見する力が身についたとのコメントもありました。次年度以降も工夫して取り組んでいきます。
図書・図書館史	白戸 満喜子	対面授業時はもちろん、出校停止になった際の課題提出も積極的でした。講義内容という知識だけではなく、さまざまな現物に触れていることを司書としての強みにしてください。
図書館概論	橋詰 秋子	この科目は、図書館学課程で学ぶ全ての科目の前提となる知識を学ぶものです。自己成長、理解度ともに全体平均を上回る評価がでていました。教科書を事前に読んで教科書問題に取り組むワークに、成長と手ごたえを感じる人がいました。次年度も工夫して取り組みます。
図書館情報資源概論	福山 樹里	この科目では、講師の司書としての経験に基づいて、図書館での実際的な課題や実情を交えて各回のトピックを解説しました。補助教材としては、解説や図、参考情報等を整理した資料を配布しました。また、授業内容の理解を深め、知識として定着してもらうために、ワークショップを3回行いました。授業については、図書館での仕事内容や資料の実際について知ることができ、より身になったとのコメントや、資料の種類が分かったことで、資料を探すことが容易になったとのコメントがあり、嬉しく思います。今後の学生生活や、卒業後の様々な活動に、図書館情報資源の知識がみなさんの役に立つことを願っています。
情報資源組織法1a	橋詰 秋子	この科目は、図書館学課程の科目の中でも難しい内容です。にも関わらず、授業で学んだ分類法や請求記号について「理解できた」「読み取り方を学んだ」というコメントや授業の分かりやすさを指摘するコメントもあり、嬉しく思います。次年度もレジュメの内容をブラッシュアップさせて実施します。